

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	阿倍野区
学 校 名	常盤小学校
学校長名	八木 宣行

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・常盤小学校では、第6学年 192名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語・算数の平均正答率は、国語：72ポイント（全国平均+5.2ポイント・大阪市平均+7ポイント）算数67ポイント（+9ポイント・+9ポイント）理科64ポイント（+6.9ポイント・+9ポイント）で、国語・算数・理科とも平均正答率は全国・大阪市平均を上回る結果であった。平均無回答率も、国語・算数で1.6ポイント、理科で1.2ポイントで、全国・大阪市平均を上回る結果であった。
- 正答数分布による上位区分「国語（正答数12～14間）」・「算数（正答数14～16間）」・「理科（正答数14～17間）」の児童は、国語では6.2ポイント、算数では10.3ポイント、理科では8.5ポイント全国平均を上回っている。また、下位区分「国語（正答数0～8間）」・「算数（正答数0～9間）」・「理科（正答数0～9間）」の児童は国語では5.4ポイント、算数では16.9ポイント、理科では14.9ポイント全国平均より少ない状況となっている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕領域別の正答率をみると、すべての領域において全国平均を上回っている。しかし「我が国の言語文化」「話す聞く」「書く」領域は他領域と比べると全国平均との差は小さい。

〔算数〕領域別の正答率をみると、すべての領域において全国平均を上回っている。しかし「図形」「データの活用」領域は他領域と比べると全国平均との差は小さい。

〔理科〕領域別の正答率をみると、すべての領域において全国平均を上回っている。しかし「『地球』を柱とする」領域は他領域と比べると、全国平均との差がやや小さい。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は87.3ポイントで、前回調査を下回ったが、全国・大阪市平均以上の結果となった。（校内結果 H31：80.1ポイント、R3：82.2ポイント、R4：85.7ポイント、R5：83.5ポイント、R6：90.0ポイント）

「理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか」の質問に対して、肯定的な回答は全国平均を4.4ポイント上回っているが、「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか」の質問に対しての肯定的回答は、全国平均より9.4ポイント下回っている。

今後の取組(アクションプラン)

○ 主体的・対話的で深い学びの推進

児童自らが課題を見出し、自ら進んで解決策を考えたり、友だちと学び合う中で最適解を合意形成していく学習を通じて、知識を活用して課題に対応したり生活に生かしたりする学びを展開していく。そのために、各教科や課題に応じた授業展開ができるように授業の充実を図る。また、1人1台PCを効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びを両立させた取り組みを進めていく。

○ 読書力の向上

学校司書や図書ボランティア、阿倍野図書館と連携していく。学校図書館の全日開館、読み聞かせ活動、学級文庫の充実、読書週間の取り組み等を通じて、より一層の読書力の向上を図る。

○ 学習への興味関心を高め、学習内容を定着させるための取り組み

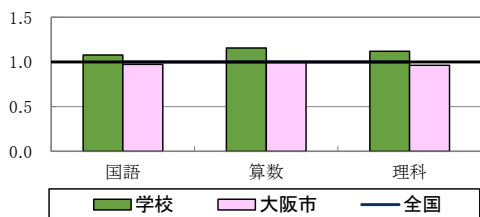
教職員で校内研究の中で意見交流をしたり、研修をしたりすることを通して、学習内容を定着させるための方策（1人1台PCを活用したデジタルドリルなど）に引き続き取り組んでいく。特に、すべて教科の授業の中で「話す聞く」「書くこと」を積極的に取り入れて、さらなる授業改善に取り組んでいく。また、学習したことを実生活に関連付けることができるよう、児童の興味関心をさらに高める授業づくりをめざしていく。

【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	72	67	64
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

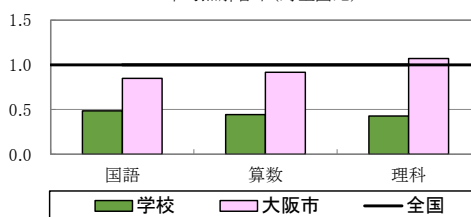
平均正答率(対全国比)



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.6	1.6	1.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

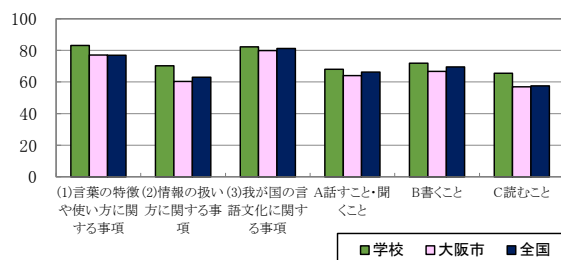
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	83.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	70.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	82.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	68.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	71.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	65.6	56.9	57.5

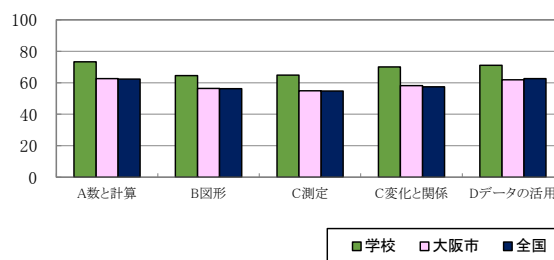
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



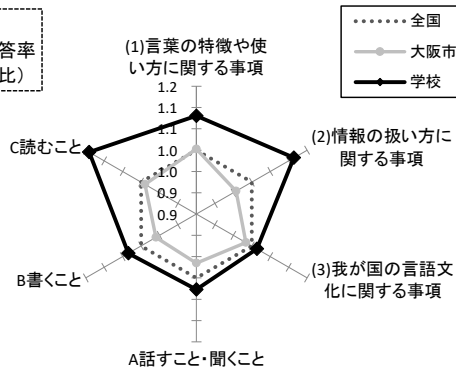
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	73.3	62.7	62.3
B 図形	4	64.6	56.4	56.2
C 測定	2	64.8	54.9	54.8
C 変化と関係	3	70.1	58.2	57.5
D データの活用	5	71.1	61.9	62.6

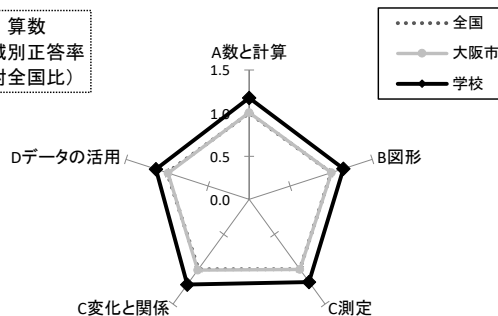
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率 (対全国比)

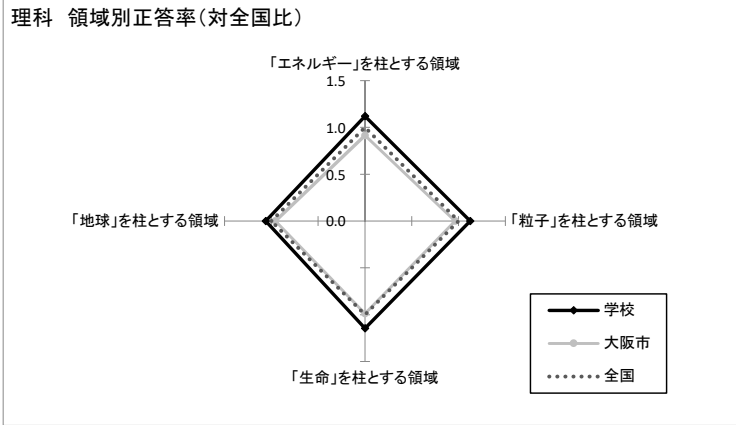
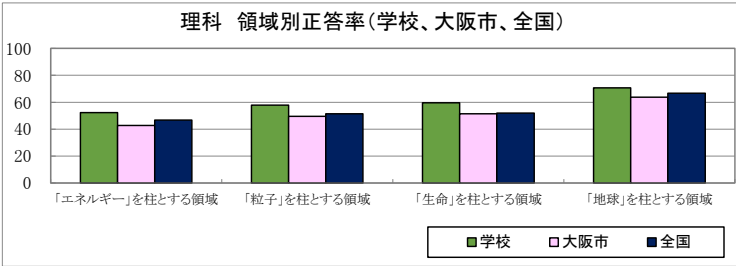


算数 領域別正答率 (対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	52.3	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	57.8	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	59.6	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	70.7	63.8	66.7



児童質問より

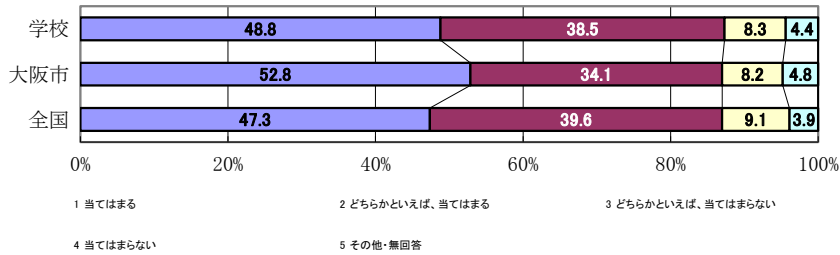
質問番号

質問事項

5

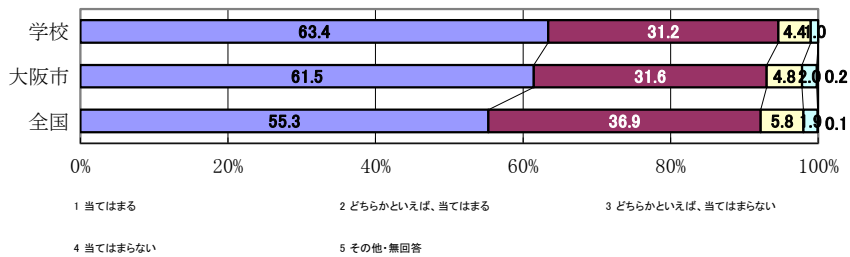
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



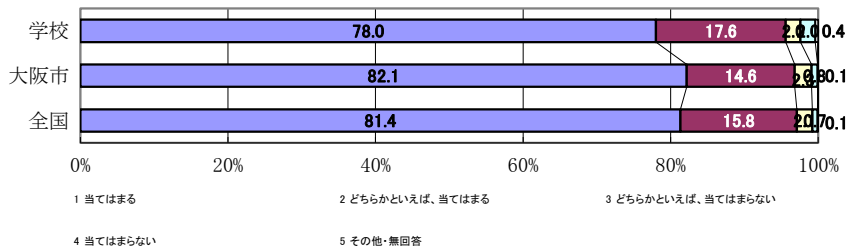
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



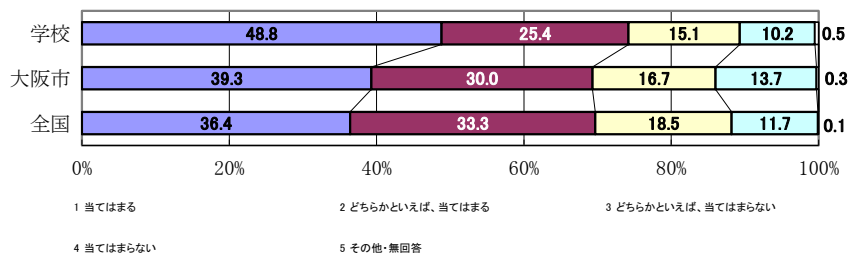
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



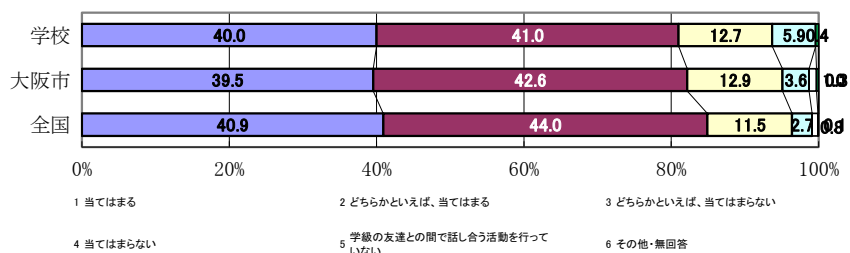
24

読書は好きですか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



学校質問より

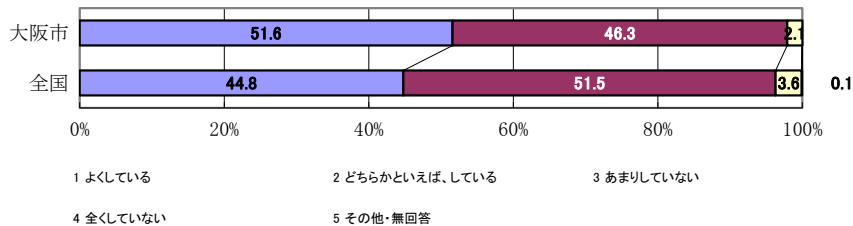
質問番号

質問事項

17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

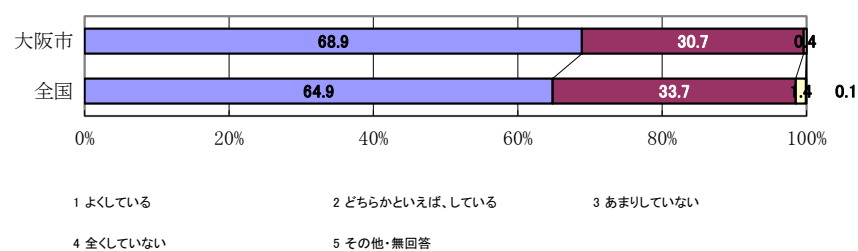
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

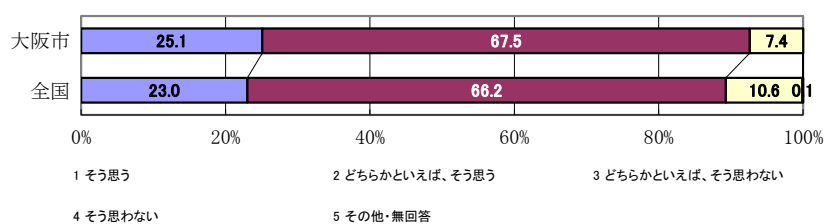
学校 「どちらかといえば、している」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

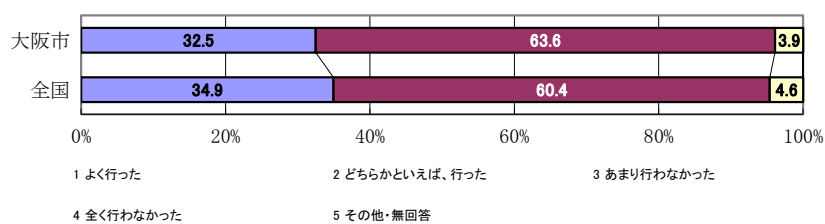
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

